

令和7年5月18日

京都市長 松井 孝治 様

京都市醍醐交流会館コンソーシアム
代表者 京都醍醐センター株式会社
代表取締役 川端 昌和

令和6年度 京都市醍醐交流会館 事業報告書

京都市醍醐交流会館の管理に関する協定書第5条第1項の規定に基づき、令和6年度事業報告書を下記のとおり提出します。

記

- | | |
|------------------|-------|
| 1 利用状況 | (別紙1) |
| 2 収入・支出状況 | (別紙2) |
| 3 利用者の満足度やニーズの状況 | (別紙3) |
| 4 自己評価 | (別紙4) |

京都市醍醐交流会館 令和6年度 利用状況

1、施設利用率(日数利用率、区分稼働率)

施設名称	日数利用率	前年度同期比	区分稼働率	前年度同期比
ホール	46.7%	3.7pt	32.4%	2.8pt
第1・2会議室	57.8%	-8.1pt	31.8%	-4.0pt
第1会議室	67.0%	-11.6pt	39.2%	-3.4pt
第2会議室	48.6%	-4.6pt	24.4%	-4.6pt
第3会議室	60.3%	-0.8pt	30.0%	-2.0pt
和室A・B	68.9%	-9.3pt	37.5%	-6.5pt
和室A	64.9%	-12.1pt	33.5%	-8.6pt
和室B	72.9%	-6.6pt	41.5%	-4.4pt
音楽スタジオ	71.0%	-5.5pt	38.3%	-4.7pt
合計	61.7%	-5.7pt	34.1%	-3.7pt

2、収納金額(施設及び付属設備使用料)

施設名	金額:円	前年度同期金額 (還付反映後):円	前年度同期比
ホール	4,660,110	4,395,560	106.0%
第1～3会議室	4,600,460	5,574,260	82.5%
和室A・B	1,187,890	1,502,350	79.1%
音楽スタジオ	1,285,200	1,582,410	81.2%
付属設備	4,095,240	3,993,560	102.5%
合計	15,828,900	17,048,140	92.8%

* 令和4年6月1日から施設使用料及び申請受付開始日(期間)が改正されています。

* 空調機器更新工事の為、令和6年6月1日から6月15日までは全館休館。6月16日から6月30日までは第1・2会議室、和室A・Bは休館。ホール、第3会議室、音楽スタジオは利用可能(但し、ホール内部以外の空調・換気は使用不可)10月15日から12月14日(予定)までは、ホール内部の空調使用不可。

(参考)過去3年間における施設利用率(日数利用率、区分稼働率)と収納金額の推移

年度	日数利用率	前年度比	区分稼働率	前年度比	収納金額(円)			前年度比 (A比)
					収納金額 (A)	還付金額 (B)	当初調定額 (A+B)	
令和5年度	67.4%	-2.3pt	37.8%	-0.2pt	17,048,140	18,100	17,066,240	96.1%
令和4年度	69.7%	-7.5pt	38.0%	-4.6pt	17,748,090	0	17,748,090	134.5%
令和3年度	77.2%	4.4pt	42.6%	-2.1pt	13,196,360	329,930	13,526,290	134.8%

*令和元年度から令和3年度は、京都府緊急事態宣言措置又は京都府まん延防止等重点措置に伴い、施設の閉館や利用の取消申出を受けた場合は使用料が還付されています。

京都市醍醐交流会館
令和6年度 収入・支出状況

受任金額 金 58,690,000 円
 収入金額 金 58,690,000 円
 支出金額 金 55,562,085 円
 差引額 金 3,127,915 円

単位：円

項目	予算額	支出額	備考
管 理 運 営 費	18,500,000	18,548,797	DC人件費、人材派遣料(シルバー人材センター等)
警 備 保 安 費	450,000	446,904	防犯・防災警備、館内巡回、ITV等監視
設備保守管理費	15,500,000	15,721,600	設備保守管理委託、ホール等照明・音響運営委託等
設 備 修 理 費	1,000,000	0	
環 境 衛 生 費	8,600,000	8,526,276	清掃費、ごみ処理費
広 告 宣 伝 費	300,000	8,460	パンフレットブース・告知看板の新設
光 熱 水 費	7,200,000	5,428,102	電気・水道・ガス
諸 雑 費	1,804,546	1,830,849	日用品・消耗品、事務用品費、通信費、リース料等
小 計	53,354,546	50,510,988	
消費税(10%)	5,335,454	5,051,097	
合 計	58,690,000	55,562,085	

京都市醍醐交流会館
令和6年度 支出内訳

単位:円

項目	金額	内訳			備考		令和6年度予算
		長谷エコミュニティ・和光建物 ①	その他委託等 ②	DC ③	①②	③	
管 理 運 営 費	18,548,797		6,385,199	12,163,598	②人材派遣料(シルバー人材センター・人材派遣会社)	D C 人件費	18,500,000
警 備 保 安 費	446,904		446,904		②防犯・防災警備、館内巡回、I T V等監視		450,000
設 備 保 守 管 理 費	15,721,600	504,800	15,216,800		①設備保守 ②ホール等照明・音響運営委託等		15,500,000
設 備 修 理 費	0						1,000,000
環 境 衛 生 費	8,526,276	7,903,488	622,788		①清掃費 ②ごみ処理費		8,600,000
広 告 宣 伝 費	8,460			8,460	パンフレットブース・告知看板の新設(東館に設置)		300,000
光 熱 水 費	5,428,102		5,428,102		②電気、水道、ガス		7,200,000
諸 雑 費	1,830,849		1,830,849		②日用品・消耗品、事務用品費、通信費、リース料等		1,804,546
小 計	50,510,988	8,408,288	29,930,642	12,172,058			53,354,546
消 費 税 (1 0 %)	5,051,097	840,828	2,993,064	1,217,205			5,335,454
合 計	55,562,085	9,249,116	32,923,706	13,389,263			58,690,000

京都市醍醐交流会館

令和6年度 利用者の満足度やニーズの状況

1 利用者満足度の把握状況

自主事業の参加者に対するアンケートのほか、受付窓口等においても利用者の要望を確認するなど、随時、意見集約を行っている。

【アンケート回収率平均】 23.3%

2 利用者のニーズ・要望の状況

(1) 自主事業における参加者アンケート

自主事業については、概ね好評価を得ており、事業の継続実施及び時間の延長等更なる充実を希望する声が大半を占めている。また、利用者による合同発表会については、出演者及び出展者が規定の数に満たなかったため、開催を見送った。

(2) 情報提供に関する要望

施設利用や申請方法、その他の市民生活に役立つ情報について、どなたにでもわかりやすく情報提供するとともに、親切丁寧に接遇することが望まれている。

(3) 通信環境に関する要望

館内の wi-fi 通信環境について整備を望む声が出ている。

3 ニーズ・要望への主な対応状況

有料貸出備品については、利用頻度及び使用状況を慎重に把握したうえで、適切に更新が進められるよう、適宜、報告・提案を行っている。

情報提供については、様々な手段（パンフレット、チラシ・ポスター、ホームページ、窓口対応）を用いている。今年度は、隣接するパセオ・ダイゴロー東館にもパンフレットブースと告知看板を設置した。また、要望に応じてスマホやタブレット機器の操作説明や、問い合わせ内容に係る市施設へ案内なども行っている。

wi-fi 通信環境については、現在、当館に導入されている『KYOTO wi-fi』について利用の案内をしている。また、市の所管課にも利用者からの要望として整備の希望を伝えている。

京都市醍醐交流会館

令和6年度 自己評価

- 1 近年の高齢化や物価上昇などの社会情勢を受け、より手頃に文化芸術や生涯学習活動の機会提供を望む声が多いことから、気軽に参加しやすい自主事業を実施することが重要だと認識しており、それらの企画を立案するとともに、工夫や見直しを行いながら、よりよいものを継続的に実施できるように取り組んでいる。
- 2 高齢の方の御利用が多いことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の5類への移行後も、消毒液の設置・貸出及び貸出備品の消毒を行うなど、感染症対策を継続することで、利用者の方々に安心・安全に利用いただけるように努めている。
- 3 施設運営の目指すべき方向性は、時代の需要に即した適応力と対応力であると認識しており、職員ひとりひとりが常に利用者のニーズや意向を踏まえ、その充足が図られるよう、意識して業務に従事するように取り組んでいる。
- 4 施設や備品については、適正な維持管理に努め、必要な小修繕を随時行うことで、利用者の方々に快適な御利用をいただけるように努めている。
- 5 隣接する施設にもパンフレットブースや告知看板を設置するなど、当館の認知度の向上及び新規顧客の掘り起こしを行い稼働率の回復を図っている。